

師団長初度視察受け



六 甲

発行所
第3後方支援連隊
第1科広報班
〒664-0014
兵庫県伊丹市広畑1-1
電話 072-781-0021
内線 3403

記事内容

一面 師団長初度視察受け、#2連隊集中野営
二面 #2師団訓練検閲支援、米国海兵隊との実動訓練支援、各演習場整備支援
三面 南海レスキュー、新隊員後期教育修了式、永年勤続25年表彰伝達式、管内班長等集合教育
四面 成績優秀者等紹介・平成25年度第一回連隊OB会役員会、4コマ漫画等
五面 人事往来(新隊員部隊配置、表彰等、永年勤続25年表彰受賞者)

後方支援連隊特有の装備品を展示

連隊は、平成25年9月20日(金)、千僧駐屯地において、第35代第3師団長鈴木陸将の初度視察を受察した。



状況報告を受けられる鈴木師団長

鈴木師団長は、当初、出迎え、幹部挨拶、状況報告を受けられ、過去に連隊長と共に勤務されていた師団長は、状況報告の最後に「河野連隊長と仕事をすることを楽しみにしてきたし、非常に頼りにしている」と述べられた。

引き続き、事務所等を巡視された後、千僧駐屯地南側地区において、装備品展示及び整備実習場や部品倉庫を視察された。装備品展示では輸送隊の特大型トレーラの積載



幹部挨拶

点検要領、衛生隊の野外手術システム(手術車、手術準備車、滅菌車、衛生補給車)、補給隊の浄水セット(浄水後の水を試飲)、洗濯セット及び入浴セットの展示を、また各整備実習場において第1整備大隊は車検整備等、第2整備大隊はLAV及びRCV整備を、補給隊の部品倉庫において納品物品の荷分け作業をそれぞれ確認され、連隊の保有する多種多様な装備品や整備実習場及び部品倉庫での恒常業務を視察され終了した。



装備品展示(入浴所)



装備品展示(特大型トレーラ)



巡視において創意工夫資材を展示



整備実習場(RCV整備)

#2連隊集中野営

参加全隊員が行進訓練を完歩

連隊は、平成25年9月27日から30日までの間、青野ヶ原演習場において、第二次連隊集中野営訓練を実施し、師団の陣地攻撃における師団段列の行動について練度向上を図った。

同訓練は①拠点防衛要領(火力と障害の連携)、②師団段列の推進、③築城、④徒步行進の四項目を主要演習項目とし、連隊長以下266名、車両80両が参加して実施した。

当初27日夕、千僧駐屯地を出発、各部隊がそれぞれの拠点に陣地進入完了後、青野ヶ原演習場内に設定した周回コースにおいて約30kmの夜間徒步行進を実施し、参加者全員が完歩した。明けて28日からは、引き続き状況下の行動訓練を、二夜三日にわたって実施した。拠点防衛要領では各部隊の参加人員に応じ一場面の地域の防衛要領を、師団段列の推進は指揮官先行型及び副指揮官先行型をそれぞれ演練した。

また築城は人員用掩蔽部の構築を、警戒自衛戦闘では連隊本部と各部隊本部の連携を重視した訓練を実施するなど、多くの成果をあげて訓練は終了。さらなる練度向上の資を得た。



#2師団訓練検閲支援(兵站支援隊)

悪天候に負けず、支援任務を完遂

連隊は、平成25年8月31日(金)から9月7日(土)の間、あいは野演習場及び青野ヶ原演習場で実施された第2次師団訓練検閲において兵站支援隊を編成し、同訓練検閲を支援した。

兵站支援隊は整備支援班、補給支援班、救護班を編成し、同行及び支援施設を開設、整備支援は車両4件、通信6件、需品4件の回収、整備等、補給支援班は糧食交付が生鮮品約5.3トン、耐久品約3.1トン、携行食約9,200食、増加

食約2.7トン、給水支援が約0.02トン、燃料交付が軽油約27,000リットル、ガソリン約800リットル、灯油約200リットル、JP4約2,200リットル交付、入浴支援が748人入浴、救護班が61件の実績をあげ、訓練検閲の実施に寄与した。



燃料交付所開設



車両整備



糧食交付

各演習場整備支援

連隊は、平成25年11月4日(月)から15日(金)までの間、あいは野、青野ヶ原及び長尾山の各演習場整備を実施する部隊を支援した。

11月4日(月)から秋季方面統制演習場整備(あいは野)、5日(火)から青野ヶ原演習場集中整備及び11日(月)から長尾山演習場集中整備が実施され、連隊は、1整大及び2整大の各DSが車両、施設、需品及び発電機の各種整備を、補給隊が燃料交付、洗濯及び部品補給を、衛生隊が救護支援及び後送を実施し、被支援部隊が最大限の機能を発揮し、任務を達成するための基盤を確立し、整備部隊の作戦に寄与した。

米国海兵隊との実動訓練支援



37連隊長も

支援隊に感謝

「支援任務の完遂」「真心を込めた支援」

連隊は、平成25年9月28日(土)から10月4日まで準備訓練支援を、10月5日から20日まで、あいは野演習場において実施された平成25年度国内における米海兵隊との実動訓練を支援した。
本訓練は日本側に第37普通科連隊長、米海兵隊側に第3海兵連隊第3大隊長が担任して実施され、連隊長力で編成した後方支援隊は同訓練の開始に先立ち9月28日より逐次現地に進入した。

後方支援隊長(副連隊長・眞田2佐)は編成完結式の訓示で、支援するのは当たり前と述べ、その中で「真心を込めた支援」「訓練規律の維持」「健康管理」を要望し、6日以降は補給隊長・池田2佐が後方支援隊長を引き継いだ。支援期間中は台風の通過等様々な悪天候に見舞われたが、各班とも整齐と支援任務を完遂し、20日、訓練部隊支援、通訳支援ともども異状なく終了した。



米海兵隊の救護用医療の研修



米海兵隊輸送支援



長尾山演習場(草刈り払い機整備)



青野ヶ原演習場(洗濯支援)



あいは野演習場(重トラックによる車両回収)

方面隊災害対処演習 (南海レスキュー)



手術車を視察される方面總監

26日には方面總監と師団長の視察に際し状況報告を実施し、現状を確認いただいた。無事訓練は終了した。



南紀白浜空港

湯体験や野外手術システム等の装備品展示を実施したが、展示中には熱心に説明を聞く方や質問をする方など、自衛隊に対する期待と関心の高さを感ずることができた。

南海トラフ巨大地震に備えて 南海レスキュー

連隊は、平成25年10月25日(金)から26日(土)の間、南海レスキューに参加した。



緊急登庁訓練

連隊は、平成25年10月25日(金)、緊急登庁訓練を実施した。当初全隊員による電話呼集からの登庁、指揮所開設、各種状況の把握等を実施するとともに各部隊は災害派遣準備を実施した。当日は台風の影響で風雨が強く悪天候ではあったが、訓練を無事に終了することができた。



呼ばれる各府県の災害派遣医療チームと合同訓練を実施。



補給隊は入浴所で足湯を開設し、災害時の入浴体験を実施。



永年勤続25年表彰受賞記念

連隊は、平成25年11月5日(月)、永年勤続25年表彰伝達式を実施した。受賞隊員25名(内2名は訓練及び入校で不在)は、連隊隊員の見守る中、連隊長から表彰状を手渡された。その後、記念撮影、記念会食を実施し、会食では連隊長から祝辞をいただき、受賞隊員は、それぞれの25年を振り返り、節目を祝った。

永年勤続25年表彰伝達式

平成25年3月新隊員特技課程及び第6期一般陸曹候補生課程後期「需品」・「衛生」教育修了式



連隊隊員に見送られる新隊員

連隊は、平成25年9月6日(金)に千僧駐屯地において、需品教育隊、同年9月13日(金)に衛生教育隊の後期教育修了式を挙行了した。7月から後期教育を開始し、年々厳しさを増す猛暑日が続いた暑い夏を乗り越え、遅しくなった新隊員は9月に修了式を終え、需品科隊員は連隊及び師団司令部付隊に、衛生科隊員は連隊及び師団隷下の各部隊に配置及び配属された。



式辞を述べる連隊長

営内班長等集合教育



教育参加所見

衛生隊
2等陸曹 佐藤 正樹

営内班長等集合訓練は今回が始めての参加であったが、各部隊の営内班長から多くの参考にしていただける指導法を知ることが出来、非常に充実した教育となった。

特に連隊長訓示では、現代日本人共通の特性と現代陸士の関係性等興味深い話を伺うことが出来た。一番身近な上司として、常に前向きかつ目標に向かって取り組む姿勢を見せ続け、また、しっかりと班員の思いを受け止められるようになってほしいと痛感した。今回の教育で学んだ事を活かして今後少しでも良い指導が出来るよう努力し、陸士が陸曹を目指すきっかけになるような営内班長になっていきたい。



グループ討議の様子

頼れる 営内班長に

連隊は、平成25年10月17日から18日の間、千僧駐屯地において各部隊の営内班長等31名に対して連隊営内班長等集合訓練を実施し、健全な営内班育成のため、資質、識能の向上及び責任感の涵養を図った。

成績等優秀者紹介

本部付隊
1曹 上口 正成
#176期陸曹上級課程において教育中隊長より努力賞受賞



本部付隊
士長 目春 菜美子
第3通信大隊で実施された新隊員特技課程教育において教育隊助手として第3通信大隊長より褒賞受賞



補給隊
士長 廣山 葵
中方バドミントン大会において混合ダブルスの部 第3位

1整大通電
3曹 小林 龍哉
業務隊管理科射撃係として千僱業務隊長より勤務優秀賞受賞



1整大火車
3曹 益川 勝至
#51期初級陸曹鍛造工作課程において武器学校第二教育部長より教育部長賞受賞



平成25年度第一回連隊OB会役員会

平成25年10月27日(日)千僱駐屯地厚生センターにおいて「第一回OB会役員会議」が実施された。日頃からご支援を頂いているOB会役員13名の方々が来隊され、25年度上期の各事業報告、定期総会実施成果報告や今後の事業等について話しあわれた。



「敬礼！」

作：衛生隊 中川士長

4コマ漫画



褒賞プレゼントクイズ

Q あるところでは、四季が【秋】【春】【夏】【冬】の順になっています。しかも1週間は金曜日からは始まります。その日は「」

※ 正解者の中から抽選で豪華商品がもらえます。

戦技能力優秀隊員紹介

毎月、月末点検時に実施している各部隊選抜された陸士隊員を対象とした各種項目の優秀者です。

9月 実施項目 拳銃の分解結合
補給隊 森内士長(記録 18・3秒)

10月 実施項目 手りゅう弾投てき
補給隊 金子1士(記録 目標まで45センチ)

応募方法は3後支1科広報班宛にハガキで応募もしくは内線3403です。

連隊ホームページのご案内

連隊は、ホームページを開設しています。携帯電話、スマートフォン、ご自宅のパソコン等から第三後方支援連隊のホームページにアクセスし、ご覧になれます。

「第三後方支援連隊」を検索↓「第三後方支援連隊HOMEPAGE」をクリック!

アドレス

www.mod.go.jp/gsdf/mae/3d/3log/index.html



編集部から

読者の皆さん、「六甲」をご愛読下さいまして誠にありがとうございます。

さて、私事ではありますが、先日、「第3回大阪マラソン」に出走してきました。自分の中で「歩かず走りきる」「諦めない」を目標にしてスタート! 順調にペースを刻んでいきましたが、30キロ手前で両脚がつかれるアクシデントが発生。しかし、ペースダウンしたものの自分に負けず42.195kmを走り、掲げた目標を達成できました。やはり、目標をもってやりきることは大事だと感じました。今年は夏から秋を飛び越え、いきなり冬がやってきたような感覚ですが、体調管理には十分に気をつけてください。

広報幹部 広報陸曹 上之園2曹 編集長 広報陸曹 久松2曹
坂口3尉

編集部委員 第二整備大隊 松永曹長

編集部委員 衛生隊 中川士長

編集部委員 随時熱烈募集中!

求む!

